2026年度日系社会研修 コース概要

| No | 7 |
|----------------------|---|
| 所管センター | 中国 |
| 分野 | 日本式経営 |
| 研修コース名 | 日本社会におけるビジネススキルの習得及び日系アイデンティティの涵養 |
| 受入人数 | 1 |
| 受入時期 | 上半期 |
| 来日日 | 2026年7月15日(水) |
| 帰国日 | 2026年12月(約5か月) ※受入機関との調整により変更の可能性あり |
| 提案団体 | 島根県 |
| | http://www.pref.shimane.lg.jp |
| 研修員必要資格 | 島根県にゆかりのある日系団体に所属している者、または、今後所属する意思がある者 |
| 研修員に必要な実務経験年数 | 実務経験3年以上 |
| 研修使用言語 | 日本語 |
| 日本語能力 (JLPT目安) | N4 |
| 英語能力 | 英語でのコミュニケーション可 |
| 研修目標 | 島根県内の企業、特に、地域における中小企業ならではの顧客一人一人を大切にするサービスの提供、消費者動向分析、広報のノウハウなど経営手法を習得する。また、日本の組織の在り方やそれに内在する日本の精神や価値観について学ぶほか、文化体験等により、日本の風土、風習、文化等深いレベルでの日系アイデンティティの涵養を目指す。 |
| 期待される成果 (習得する技術) | ①研修員が、日本企業におけるマーケティング・広報技術を理解する ②研修員が、自国で応用可能な経営管理を習得する ③研修員が、日本の組織運営方法等を理解する ④研修員が、日本の伝統文化等に関する知識を習得する ⑤研修員が、帰国後の具体的な活動計画を作成する |
| 研修計画 (内容) | 1. 企業における専門研修 ①マーケティング、広報技術の実習 ②経営管理に関する実習 ③組織運営に関する実習 2. 日本文化等に関する視察・実習等 3. 関係者への研修結果の報告 |
| 本研修実施の意義現地日系社会への裨益効果 | 日本企業での専門実習を取り入れる本研修において、中南米の日系社会研修員が自分のルーツである日本企業における経営のあり方、マーケティング、広報技術等の専門的・技術的スキルを習得し、帰国後、母国における経済社会の発展に貢献する人材育成を図る。また、広くスキルが認知されることで、日系コミュニティの活性化及び母国の経済界における日系人の社会的評価の向上が期待できる。併せて、日本人の働き方や仕事の進め方を体感し、日本企業のマネジメントスキルを習得することで、母国での経済活動の活性化に貢献し、地域の発展に大きく寄与することができる。他、自身のルーツとなる日本における文化体験等が、より深い日系アイデンティティの涵養に繋がる。 |
| 応募希望者への特記事項 | 研修効果に鑑み、島根県人会等、島根県にルーツを有する者が望ましい |